

「電話の歴史」

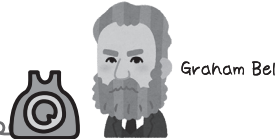
過去から未来へタイムトラベル

広報部副部長 橋本 奈津子

電話をかけるときに使う「もしもし」という言葉。みなさんは、どうしてこの言葉を使うのか考えたことはありますか？日本語源由来辞典によると、「もし」は「申し」が略されたもの。昔は、連絡したい相手に電話を直接かけることが出来ず、電話交換手を通じて繋いでもらう必要がありました。「もしもし」の由来は、この電話交換手が言っていた「申します。申します。」が省略された形だそうです。ちなみに2回繰り返す理由については、当時、電話の音が聞き取りづらいために繰り返すようにしていたと言われています。今回は、この電話の歴史について、振り返ってみたいと思います。



電話の発明



グラハム・ベルが電話を発明してから14年後の1890（明治23）年、日本で初めて電話サービスが行われたのは東京・横浜間でした。開設当時の加入者はたったの197（東京155／横浜42）世帯。日本最古の電話帳「電話加入者人名表」によると、省庁や銀行、新聞社など1から順番に加入者名が並んでいたようです。栄えある「1」番は東京府庁（現在の東京都庁）。個人で電話を持っている人はごく稀で、数少ない個人名の中には「大隈重信」や「渋沢栄一」など、歴史に名を残す人物がいました。ちなみに開局当時の電話代は月額40円。現代に換算すると、月額15万円もしたそうです。東京間の通話料金は月額使用料に含まれていましたが、東京から横浜の通話（市外電話）には、5分で15銭（現代に換算すると2,250円相当）もかかったということで、当時の電話は本当に限られたものだったことがわかりますね。



人気の職業
～電話交換手～



電話を繋げるためには「交換機」が必要で、現在では、送信側が受話器を上げて電話番号を押すだけで、自動的に相手の電話機に接続されます。日本でこの自動交換システムが始まったのは1926（大正15）年のことで、このシステム以前は電話交換手を介し、手動で回線を繋げていました。この職業は最先端で、女性に大人気だったようです。

特別企画 バックナンバーはコチラ





公衆電話の登場



個人ではなかなか普及が進まない電話でしたが、「公衆電話」の登場は、電話の存在を身近に感じることが出来るきっかけとなりました。電話所だけにしかなかった公衆電話が街頭に設置されたのは1900（明治33）年のこと。場所は上野・新橋の両駅構内の2カ所でした。当時の公衆電話は、アメリカの街頭電話に「オートマテックテレホン」と表示されていたことから、直訳の「自動電話」という名称でした。「公衆電話」に改称されたのは、それから25年後の1925（大正14）年になります。通話料は15銭。5銭硬貨を入れると「チーン」、10銭硬貨を入れると「ボン」となる仕掛けになっていて、この音で電話交換手が判断し、電話を繋いでいたようです。当時のコーヒー1杯が2銭ほどだったということですから、かなりの高額と言えるでしょう。



磁石式公衆電話機
初期の公衆（自動）電話
1925（大正14）年
「NTT技術史料館」提供



電話機の変化



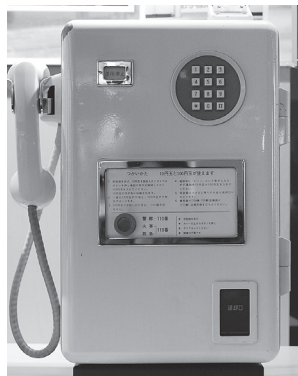
時は流れ、黒電話が登場します。昭和時代に改良を重ねながら、中央にある大きなダイヤルとブラックデザインの形は、長く引き継がれていきます。コードレス化や子機の登場は、画期的な出来事でした。1985（昭和60）年に通信事業が民営化されたことにより、黒電話の時代から、留守番電話やファックス機能などを搭載した電話機に変化していきます。特に子機の登場は、電話機の前以外でも通話出来るという、斬新なアイデアとなりました。黒以外の色も登場し始め、電話としての機能だけでなく、おしゃれなインテリアとしてもみなされるようになっていきます。



様々な公衆電話



公衆電話は最近あまり見かけなくなりましたね。当時の公衆電話には、用途ごとにいろいろな色があったようです。1953（昭和28）年から「赤電話」が登場した後は、「青電話」（電話ボックス用／1968（昭和43）年）「黄電話」（長距離用／1972（昭和47）年）と移り変わり、1982（昭和57）年に、テレホンカードが利用出来る、緑色のカード式公衆電話が設置されました。1990（平成2）年には、ISDN回線を使ったグレーの公衆電話が登場し、ノートパソコンが接続出来るなど、データや画像通信が可能になりました。



プッシュ式100円公衆電話機
1975（昭和50）年に登場した
プッシュ式100円公衆電話機（黄色）
「NTT技術史料館」提供



大形青公衆電話機
1968（昭和43）年に登場した
大形青公衆電話機
「NTT技術史料館」提供



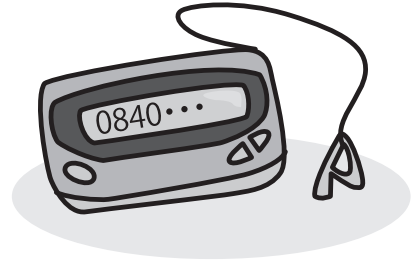
4号自動式卓上電話機
1950（昭和25）年に誕生した
4号自動式卓上電話機
「NTT技術史料館」提供



懐かしのポケットベル



ポケットベル。懐かしいですね。みなさんはご存じですか？ポケットベルとは、1968（昭和43）年に、日本電信電話公社が開始した、公衆無線呼び出しサービスのことで、携帯電話の原型となったこの移動体通信サービスは、通話することは出来ませんでした。発信者からの通知により、受信者が公衆電話等別の手段で発信者に連絡をする、というものでした。当時、営業職などの利用が多く、仕事で連絡を取り合うための手段として用いられていました。「ポケベル」の略称で親しまれ、使用料金も格安だったことから、1992（平成4）年頃からは、女子高生に大人気となり、「0840＝おはよう」「8181＝バイバイ」など語呂合わせの暗号メッセージが流行りました。平成初期に社会現象となった「ポケベル」ですが、携帯電話の普及により、公衆電話とともに衰退していきました。



ショルダーホン ～携帯電話の誕生～



日本で初めての携帯電話の誕生は、1985（昭和60）年まで遡ります。自動車電話を車の中から持ち出したい、という発想が携帯電話への第一歩となりました。名称は「ショルダーホン」。バッテリーが必要なことから、なんと重さは約3kg。連続通話時間は約40分、連続待受時間は約8時間だったようです。本体の価格は保証金約20万円、月額基本使用料が約2万円、通信料は1分100円と高額であったため、一般家庭への普及には至りませんでした。その後、小型化や軽量化の改良を重ね、携帯電話と称するサービスを開始しましたが、現在の端末とは程遠い重量がありました。1999（平成11）年、インターネットの接続サービスが開始され、同年、世界初のカメラ内蔵携帯が発売されます。携帯番号が11桁になったのもこの年。これを境に、携帯電話は大きく変化していくのです。



ショルダーホン100型
1985（昭和60）年
「NTT技術史料館」提供



今日、「電話」とは「携帯電話・スマートフォン」であり、公衆電話はもちろん、固定電話ですら身近ではない時代になりました。スマホ1台で世界と繋がる今ですが、ここに至るまでに長い歴史があったのです。手紙や電報しかなかった当時、電話で遠くにいる相手と会話ができることは、まるで魔法のようだったに違いありません。いまや音声通話だけではなく、テレビ・カメラ・音楽・ゲーム・バーコード決済などに至るまで、様々な機能が詰め込まれている通信機器。この通信を超えた技術は、今後どのように変化していくのでしょうか。電話とともに歩む未来。これからの更なる進化に期待が高まります。

参考文献 ウィキペディア



電話番号雑学

～ご存じですか？消防が「119」で警察が「110」の理由～

日本初の3桁電話番号は「112」。ダイヤル式電話の登場に合わせて、1926（大正15）年、消防用の緊急電話番号として定められました。3桁電話番号とは、1から始まる3桁の番号のことで、緊急通報用などに使用されています。

「112」にした理由は、諸説ありますが、

- ① 覚えやすく、かけ間違いを減らすため
- ② ダイヤル式電話の番号の中で、回す時間が一番短い「1」を採用
- ③ 全て同じ番号ではなく、最後を「2」にしたのは、いたずら電話を防ぐため



とされています。ところがこの「112」、かけ間違いが続出したといいます。焦る気持ちがそうさせたのでしょうか。結局、翌年には、末尾の番号を「1」から遠く、回す時間が長い「9」へ変更し、「119」になったようです。皆に落ち着いて通報してほしい、という願いが込められていたのかもしれませんが。



「119」に遅れること約20年、警察用の番号「110」が定められました。消防用と同じ理由から、末尾の番号は「1」から遠い「0」が選ばれたようです。当時、警察への緊急電話番号は、東京や大阪などで異なっていたようですが、1954（昭和29）年、新警察法により「110」へ統一されました。その後、1970年代になると、電話はダイヤル式からプッシュ式へ変化していきます。「1」と「0」が遠い位置にあるなど、今では意味がないものになってしまいましたが、この2つは、私たちにとって、安心感のある番号であることに変わりはありません。現代では、携帯電話の音声コマンドでも緊急通報電話をかけることが出来るようになりました。電話は、通話という機能を超え、進化し続けているのです。

ちなみに「119」も「110」も、その番号をかけるときは緊急事態ですよ。事件や事故の状況によっては、両方必要な場合が出てくるかもしれません。そんなとき、優先すべき番号はどちらでしょう。一番大切なものは「命」です。もし迷ったときは「119」が良いようです。救助することが最も優先すべき事項なのですから。

緊急電話番号の由来、いかがでしたでしょうか。

—黒電話—

本体と受話器がコードで繋がっています。
ダイヤルは1から0まで順番に並んでいます。
早押しは出来ず、もちろん保留機能もありません。



「#9110」について

初めて見聞きした方もいらっしゃるかも知れません。何の番号？と思うかも知れませんが、末尾が「110」となっているように、実は警察相談専用電話なのです。

緊急を要する事件・事故の場合は当然「110」となりますが、犯罪や事故に当たるのか分からない場合、ストーカーやDV、悪質商法などを警察に相談したい場合は「#9110」をご利用ください。